

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書（2020年度）

ラボ名称	日本研究プラットフォーム・ラボ		
ラボ代表者	氏名	加茂 具樹 清水 唯一朗	所属 総合政策学部教授 総合政策学部教授
ラボ設置期間	2009年10月1日 ~ 2021年9月30日		12 年間

構成メンバー（提出時点）		
氏名	所属・職位	役割
加茂 具樹	総合政策学部教授	ラボ共同代表、現代中国地域研究（中国政治、外交、社会）、比較体制論（政治参加、議会）、東アジア国際関係論
清水 唯一朗	総合政策学部教授	ラボ共同代表、日本政治外交史（統治構造論、政官 関係論）、オーラル・ヒストリー（政策研究、組織研究、方法論）
國領 二郎	総合政策学部教授	経営情報システム
秋山 美紀	環境情報学部教授	コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション、メディアコミュニケーション）
池田 靖史	政策・メディア研究科教授	建築・都市設計
一ノ瀬 友博	環境情報学部教授	景観生態学、景観計画学、造園学、農村計画学
井庭 崇	総合政策学部教授	パターン・ランゲージ、創造性、複雑系科学、社会システム理論
國枝 孝弘	総合政策学部教授	フランス文学、フランス語教育
神保 謙	総合政策学部教授	国際安全保障論、アジア太平洋の安全保障、東アジア地域主義、日本の安全保障政策
杉原 由美	総合政策学部准教授	日本語教育学、会話分析
土屋 大洋	総合政策学部長、政策・メディア研究科教授	国際関係論、情報社会論、公共政策論
中浜 優子	環境情報学部教授	応用言語学、第二言語習得
古谷 知之	総合政策学部教授	統計学、観光政策、交通政策
柳町 功	総合政策学部教授	現代韓国論、東アジア経営史・財閥史（韓国・日本）
藁谷 郁美	総合政策学部教授	ドイツ語、ドイツ文学、ドイツ語教授法

年次活動実績報告

研究活動報告 (設置申請書、継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)

日本研究プラットフォーム・ラボでは、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)を中心とした慶應義塾が、世界の日本研究および東アジア研究のハブとなることを目指し、研究拠点形成のための基盤整備を行ってきた。

とくに、2011年度から2013年度から3年間、「文部科学省経常費補助金(特別補助)戦略的研究基盤形成支援事業」による支援を受け、その成果は、学部授業「日本研究概論」の設立と実施、キャンパス単位で行われる各種国際交流活動へと継承されている。

2020年度の活動実績は以下のとおりであった。

1) 2020年度春学期学部への授業科目提供

- ・科目概要：日本研究概論2
- ・科目担当：土屋 大洋（総合政策学部長、政策・メディア研究科教授）、
加茂 具樹（総合政策学部教授）、
清水 唯一朗（総合政策学部教授）、田中 浩一郎（政策・メディア研究科教授）
- ・講義内容：
 - 第1回 インTRODクシヨン
担当：加茂具樹、田中 浩一郎、中山 俊弘、清水 唯一朗、土屋 大洋
 - 第2回 政策研究の役割
担当：土屋 大洋
 - 第3回 日本のエネルギー事情
担当：田中 浩一郎
 - 第4回 非民主主義国家の政策決定過程
[Japanese Diplomatic Challenge: Japan-U.S. Alliance]
担当：加茂 具樹
 - 第5回 官邸主導への移行とそれによる新たな課題 [Power Shift to Prime Minister]
担当：清水 唯一朗
 - 第6回 ゲストレクチャー
担当：外部講師；秋吉 貴雄（中央大学法学部教授）
 - 第7回 ゲストレクチャー
担当：内藤 泰宏（環境情報学部教授）
 - 第8回 ゲストレクチャー
担当：外部講師；津上 俊哉（津上工作室代表）
 - 第9回 日本外交と日米関係 [Japanese Diplomatic Challenge: Japan-China Relations]
担当：中山 俊弘
 - 第10回 グループ討論&教員への個別質問
担当：土屋 大洋
 - 第11回 グループ討論&教員への個別質問
担当：土屋 大洋
 - 第12回 グループプレゼンテーションの講評
担当：加茂 具樹、田中 浩一郎、清水 唯一朗、土屋 大洋

2) 2020年度秋学期学部への授業科目提供

- ・科目概要：日本研究概論1
- ・科目担当：土屋 大洋（総合政策学部長、政策・メディア研究科教授）、
加茂 具樹（総合政策学部教授）、
清水 唯一朗（総合政策学部教授）、田中 浩一郎（政策・メディア研究科教授）
- 第1回 インTRODクシヨン
担当：土屋 大洋
- 第2回 『決め方』から日本を考える
担当：清水 唯一朗
- 第3回 日本を説明する。中国を説明する
担当：加茂 具樹

第4回 エネルギー問題から日本を考える

担当：田中 浩一郎

第5回 日本のコミュニティ

担当：加藤 文俊（政策・メディア研究科院長、環境情報学部教授）

第6回 現代アートと現代の日本

担当：脇田 玲（環境情報学部長・教授）

第7回 日本の差別？ハンセン病から読み解く

担当：外部講師；藪本 雅子（アナウンサー）

第8回 日本研究と台湾における社会科学の知識体系

担当：外部講師；李世暉（台湾国立政治大学）

第9回 興味津々：古墳時代

担当：草野 厚（慶應義塾大学名誉教授）

第10回 報道機関としての対外発信

担当：高井孝彰（NHK国際放送局局長）、西川美和子（NHK国際放送局国際企画部長）

第11回 社会が制度を変える、制度が社会を変える！

担当：大沼 みずほ（大正大学法学部准教授）

第12回 まとめ

担当：土屋 大洋、加茂 具樹、清水 唯一朗、田中 浩一郎

以上

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

（とくになし）